

肉用牛の増頭を強力に支援します

・肉用牛繁殖基盤強化総合対策事業の活用・

肉用牛の生産を安定的に拡大するために平成19年度から新たに、国の補助を受けて「肉用牛繁殖基盤強化総合対策事業」を実施しております。

本県では、県産和牛の統一ブランド「にいがた和牛」の生産拡大をめざして、和牛の繁殖雌牛飼育農家及び和牛の子牛を生産する酪農家等に対して、肉用牛の増頭対策(事業)を中心に積極的に推進し支援しております。

なお、増頭のための重点的な取り組み内容は下記の通りです。詳細については、パンフレットを用意しておりますので、必要な方は畜産協会に申出ください。

増頭のための重点的な取り組み

繁殖経営における増頭対策

- 中核担い手(10頭規模以上)が繁殖雌牛を増頭した場合に奨励金を交付
- 増頭に必要な簡易施設の整備及び、施設の改造に必要な資材と器具機材に補助

酪農経営活用による増頭対策

- 酪農家等が乳用種及び交雑種に和牛の登記可能受精卵を移植、受胎させた場合に奨励金の交付
- 酪農家等が登記可能な和牛雌子牛を生産し、子牛登記を行った場合に奨励金の交付

離農農家の円滑な雌牛継承の推進

- 高齢等の理由により離農又は経営規模を縮小する農家の雌牛を地域又は広域で計画的に保留する場合、調整等を行う協議会の開催等に助成、及び妊娠牛又は繁殖可能雌牛を購入する者に対する購入費を補助

ヘルパー利用組合の組織化と運営

- 肉用牛ヘルパー活動の組織化、要員の確保、ヘルパーの出役調整、傷病時等の際のヘルパー利用に係る互助制度の推進活動に助成

第9回全国和牛能力共進会に参加

～和牛再発見!地域で築こう和牛のみらい～

5年毎に開催される、和牛のオリンピック「第9回全国和牛能力共進会」の最終審査が平成19年10月11日から10月14日まで、鳥取県米子市、大山町の2カ所で開催されました。

今回のテーマは「和牛再発見!～地域で築こう和牛の未来～」で、肉専用種として求められる産肉能力と再生産を保証する種牛能力のバランスのとれた和牛改良を目指すことにあります。

当県からは、第2区 若雌区に佐渡和牛改良組合から、梶井佐武朗氏・所有牛「第2とみじか」、第9区 去勢肥育牛区に新発田市の渡邊守氏・所有牛「高静45」並びに胎内市の河内松雄氏・所有牛「安照」の計3頭が出品されました。

河内松雄氏の出品牛は、食味の指標値である「オレイン酸割合」で全国出品74頭中6位の成績を収め、全国平均の53.9%に対して58.4%と4.5%も上回る立派な内容でありました。

審査結果は、宮崎県の出品牛の多くが上位を占め、第1区の若雌・優等賞1席は鹿児島県の出品牛に譲った以外は、名誉賞や他の優等賞1席は全て獲得しておりました。

家畜排せつ物の発生量等の記録を適切に行いましょう!

「家畜排せつ物法」では、家畜を飼育する農家は、家畜排せつ物の年間発生量、処理の方法、処理の方法別の数量について記録することが義務となっております。

また、その記録は、少なくとも1年間保存することが求められております。

なお、畜産の補助事業では、この記録を確実に行うことが加入要件となっている事業もありますのでご留意願います。